

# 公安委員会定例会議(第16回)の開催状況

第1 日 時 令和4年7月6日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時30分

第2 出席者 五葉委員長、曾我部委員、渡部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、  
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、  
総務課長

第3 議事の概要

## 1 渡部委員説示

先日、久万高原署が主催した「ひまわりの絆プロジェクト」の記事を拝見しました。この絆プロジェクトは、地域住民とともに命の大切さや交通事故防止を呼びかける取組で、前年度に実ったひまわりの種をバトンにして、町内の保育所や幼稚園、小中学校等が輪番で栽培しています。

私も5年前に、この絆プロジェクトを開催した久万高原署から招待され、子供たちと一緒にひまわりの苗を植えました。

その年に久万高原町を再び訪れたとき、町内のいたるところでひまわりが見事な大輪の花を咲かせていたことに感銘を受け、私はそれ以来、この絆プロジェクトが好きになったのです。

近年はコロナ禍の影響により、警察と地域の保育所や幼稚園、小中学校、自治体等との絆が弱まり、この絆プロジェクトが消滅していないかと心配していましたが、今回の記事を目にし、ひまわりの種がしっかりと受け継がれていたことを大変嬉しく思います。

このような活動は、止めてしまうことは簡単ですが、再び復活させるためには多くのエネルギーを必要とします。今後もコロナ禍はしばらく続いていくと思いますが、コロナ禍以前から取り組んでいた「ひまわりの絆プロジェクト」のような行事を一つ一つ検証し、有効・有意義な取組は、是非とも途絶えさせることなく継承していただきたいと思います。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和4年第15回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情申出の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情申出の受理について伺いがあり了承した。

- (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答  
総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。
- (4) 犯罪被害者等早期援助団体からの定期提出書類の提出  
総務室から、犯罪被害者等早期援助団体からの定期提出書類の提出について伺いがあり了承した。
- (5) 禁止命令等実施報告（5件）  
生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。
- (6) 指定自動車教習所に対する監督命令処分  
交通部から、指定自動車教習所に対する監督命令処分について伺いがあり了承した。

### 3 報告事項

- (1) 令和4年6月定例県議会の開催結果  
総務室長から、令和4年6月定例県議会の開催結果について報告があった。
- (2) 令和4年度警察官（高校卒程度）及び警察事務職員（初級）の採用募集活動  
警務部長から、令和4年度警察官（高校卒程度）及び警察事務職員（初級）の採用募集活動について報告があった。  
委員から、「優秀な人材を採用しても理想と現実との違いで辞職してしまう場合がある。採用募集活動においては、初任科生が採用直後に現実とのギャップを感じて辞職することがないように、やりがいや魅力等と併せて業務の内容や苦勞等についてもしっかりと説明していただきたい」との発言があった。  
委員から、「少子化に伴う若年層の減少もあり、採用募集活動も難しくなっているが、日頃から各種警察活動においては親切丁寧な対応を心掛け、警察のファンを増やして口コミで警察の良さを広めてもらうことが重要である」との発言があった。  
委員から、「女性警察官の能力・特性を發揮できる場面は数多くある。引き続き、県警の女性警察官の占める割合を高めていただきたい」との発言があった。
- (3) 山岳警備救助隊の活動状況  
生活安全部長から、山岳警備救助隊の活動状況について報告があった。  
委員から、「山岳遭難防止に向け、オンライン登山届『コンパス』の利用方法について積極的に広報していただきたい」との発言があった。  
委員から、「山岳遭難の発生に備え、日頃からしっかり練度を高めるとともに、救出救助時における隊員の二次被害防止を徹底していただきたい」との発言があった。

(4) サイバーセキュリティシンポジウム道後2022の開催

生活安全部長から、サイバーセキュリティシンポジウム道後2022の開催について報告があった。

委員から、「県警の高いサイバー関連技術を積極的に関係機関等と共有するなど、引き続き、官民が連携してサイバー犯罪被害防止に万全を期していただきたい」との発言があった。

委員から、「サイバー犯罪の危険性について、警察が社会に警鐘を鳴らしていく必要がある」との発言があった。

委員から、「企業側からの警察に対する期待は大きい。あらゆる機会を通じて、初心者からハイレベルの方までが理解できる分かりやすい広報啓発活動に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(5) 機動隊初の女性隊員の戦力化と活動促進に向けた環境整備

警備部長から、機動隊初の女性隊員の戦力化と活動促進に向けた環境整備について報告があった。

委員から、「白バイ隊員と同様、機動隊員に女性が加わることで、男性隊員が女性隊員の活躍を認めるきっかけになるほか、女性を必要とする現場にも直ちに対応できる。女性職員が配置されていない他の所属についても、業務内容や職員の適性等を踏まえつつ、積極的に配置を検討していただきたい」との発言があった。

委員から、「機動隊への女性隊員の配置については県警初の取組でもあり、組織全体で大切に育成していただきたい」との発言があった。

(6) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

4 その他

(1) 生活安全部長から、7月2日に発生したauの通信障害に伴う県警に対する110番通報への影響等について報告があった。

(2) 本部長から、「委員説示のとおり、警察は犯罪を取り締まる行政機関である一方で、地域住民の最も身近な存在として住民と協同して安全・安心を確保する立場でもあり、地域住民との絆が重要であると認識している。新型コロナウイルス感染症の第7派の到来が指摘されているが、コロナ禍で希薄化した警察と地域住民との絆の再構築に注力したい」「交番及び駐在所は、警察と地域を結ぶ第一線の間である。地域住民が交番等に親近感を抱き、気軽に交番等を訪れることができるようにイメージアップを図りたい」との発言があった。

以上